

昭和63年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

1. 「みやこ」 「船の科学」1988-6 (Vol.41, No.6) より採取

- ・漁業調査指導船「みやこ」 総トン数 136T 主に伊豆諸島 - 小笠原諸島 - 火山列島 - 沖の鳥島、南鳥島海域 - 南西諸島 - 三陸沖海域などの海域にて調査、指導、海洋観測、取締などを行う。
- ・調査測定機器 : 測深機、流向流速計、水温計、電磁海流計、人工衛星水温受信装置など。
- ・船主 : 東京都水産試験場 ・建造 : (株)三保造船所 昭和63年2月1日 竣工
- ・1) は本船全景、2) は操舵室、3) は海図室、4) は研究室。

1) W63-01 みやこ 本船全景



2) W63-02 みやこ 操舵室



3) W63-03 みやこ 海図室



4) W63-04 みやこ 研究室



2. 「国東丸」(KUNISAKI MARU) 「船の科学」1988-7 (Vol.41, No.7) より採取。

- ・実験船Cレベル仕様、省エネ超肥大船型、鉍石運搬船「国東丸」 DWT 227,960t
実験船Cレベルの省エネ仕様を取り入れた超合理化船、船橋に中央制御室を設け、機関の集中制御およびバラストの集中制御が行えるよう計画された。
- ・船主 : フレンド SHIPPING (株) ・建造 : 日立造船(株)有明工場 昭和63年3月11日 竣工
- ・5) は本船全景、6) は中央制御室。

5) W63-05 国東丸 本船全景



6) W63-06 国東丸 中央制御室



3. 「日石丸」 「船の科学」1988-8 (Vol.41, No.8) より採取。

- ・超省エネルギーVLCC「日石丸」 DWT 258,094t 燃費50トンの日本石油(株)創立100周年記念建造船、航海船橋甲板に集中監視制御室を設け、航海・機関・荷役等の全ての監視・制御機能を集中配置した。
- ・船主 : 東京タンカー(株) ・建造 : 三菱重工業(株)長崎造船所 昭和63年4月27日 竣工
- ・7) は本船全景、8) は集中監視制御室

7) W63-07 日石丸 本船全景



8) W63-08 日石丸 集中監視制御室



4. 「神珠丸」 「船の科学」1988-10 (Vol.41, No.10) より採取。

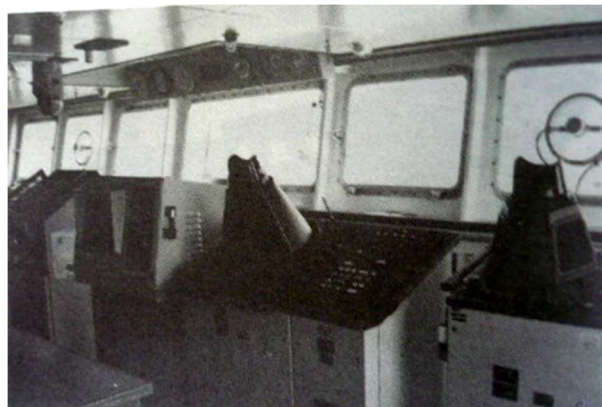
- ・RO/RO型貨物船「神珠丸」 総トン数 3,953T 省エネルギー ロール・ペーパー(新聞紙)運搬船
- ・船主 : 栗林商船(株)
- ・建造 : 今治造船(株) 昭和63年1月28日 竣工

9) W63-09 神珠丸 本船全景

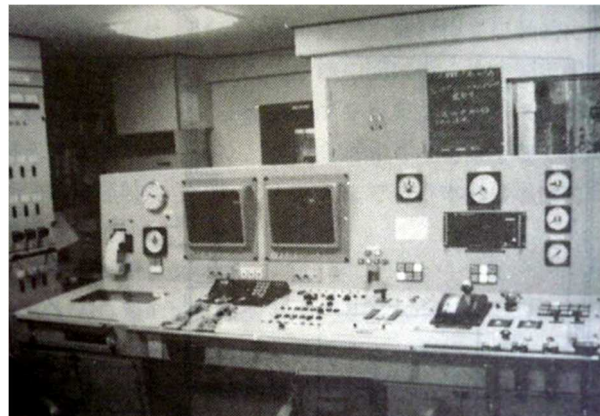


- ・9) は本船全景、10) は操舵室、11) は機関制御室。

10) W63-10 神珠丸 操舵室



11) W63-11 神珠丸 機関制御室



5. 「SHIN SENDAI」 「船の科学」1988-12 (Vol.41, No.12) より採取。

- ・300万CF型木材チップ運搬船「SHIN SENDAI」 DWT(夏期満載) 42,304t 主に豪州及び北米と日本間で木材チップのピストン輸送に従事。

- ・船主 : Golden Helm Shipping Co.,S.A.
- ・建造 : 住友重機械工業(株) 追浜造船所
昭和63年7月26日 竣工

- ・12)は本船全景、13)は操舵室、14)は機関制御室。

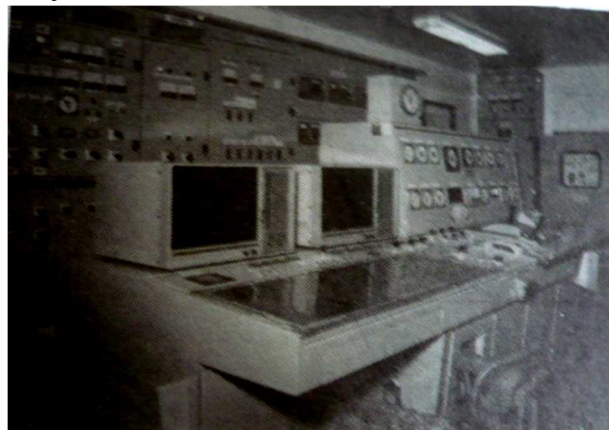
12) W63-12 SHIN SENDAI 本船全景



13) W63-13 SHIN SENDAI 操舵室



14) W63-14 SHIN SENDAI 機関制御室



6. 「やしま」 「船の科学」1989-3 (Vol.42, No.3) より採取。

- ・ヘリコプター2機搭載型巡視船「やしま」 総トン数 5,300T 2機(9,100PS)2軸 CPP,
ヘリコプター ベル212 2機、
200 海渾排他的経済水域における巡視取締
の業務に従事。

- ・船主 : 海上保安庁
- ・建造 : NKK 鶴見造船所
昭和63年12月1日 竣工

- ・15)は本船全景、16)は操舵室、
17)は操舵室内の機関監視区画。

15) W63-15 やしま 本船全景



16) W63-16 やしま 操舵室



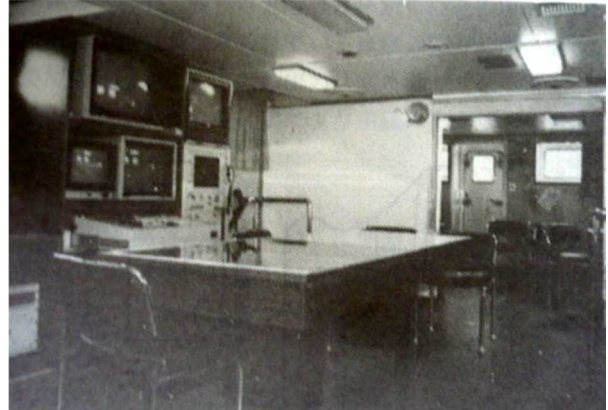
17) W63-17 やしま 操舵室 機関監視区画



・ 18) は O C I 室 (Operation Information Center)

OCI 室は海難救助あるいは海上警備の際の総合指揮を行うための情報の収集と指令を発する部屋である。

18) W63 - 18 やしま OCI室



7 . 「CAPE HORN」 「船の科学」 1989 - 5 (Vol.42, No.5) より採取。

・ 世界最大級 45,000 DWT ケミカル/プロダクト タンカー「CAPE HORN」 DWT 45,003 t
主にメタノールの輸送に従事。

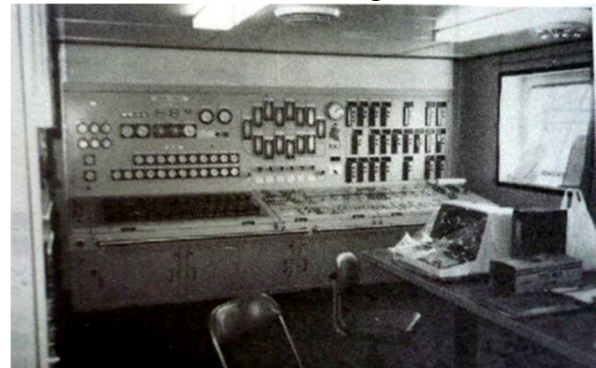
・ 船主 : Fair View Bulk Carrier ・ 建造 : (株)新来島どっく 大西工場 昭和63年12月21日 竣工

・ 19) は本船全景、 20) は Cargo Control Console

19) W63 - 19 CAPE HORN 本船全景



20) W63 - 20 同左 Cargo Control Console



8 . 「はんばー ぶりっじ」(HUMBER BRIDGE) 「船の科学」 1989 - 6 (Vol.42, No.6) より採取。

・ 3,456 TEU 積み最新鋭 コンテナ船「はんばー ぶりっじ」 DWT 47,539 t

11名運航船を目指した高近代化船。船橋に操船区画、機関制御区画、無線室、船内事務区画を集中した。

・ 船主 : 川崎汽船(株) ・ 建造 : 川崎重工業(株)坂出工場 昭和63年12月26日 竣工

・ 21) は本船全景、 22) は操船区のコントロール・センター。

21) W63 - 21 はんばー ぶりっじ 本船全景

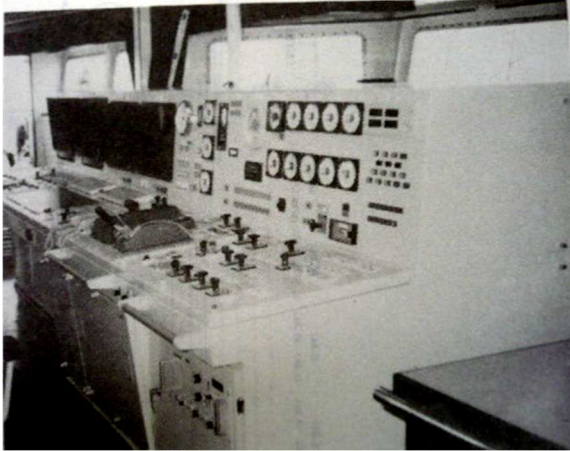


22) W63 - 22 はんばー ぶりっじ 操船区



- ・ 2 3) は機関区、データロガーは CRT + 16 bits CPU 方式で、CPU は二重装備、スタンバイ・シーケンサー、レフコン・モニターを装備している。2 4) は船内事務所で、パラスト制御盤、パソコンなどを配置している。

2 3) W 6 3 - 2 3 はんばー ぶりっじ 機関区



2 4) W 6 3 - 2 4 はんばー ぶりっじ 船内事務所



[メ モ]

- 1) この年の珍しい船としては、漁業調査船「みやこ」、省エネ超肥大船型鉱石運搬船、超省エネルギーVLCC「日石丸」、ヘリコプター2機搭載型巡視船「やしま」などが挙げられる。
- 2) 観測船などが多いので、どんな観測装置を装備しているか見るのは興味深い。内容はよく分らないが、当時の計測装置の概要は覗える。
- 3) 省人化対応として、船橋に集中監視・制御室を設けることが一般的となった。
- 4) 機関制御室のコンソールにCRTが2台組み込まれるようになってきた(「神珠丸」、「SHINSENDAL」、「はんばーぶりっじ」など)、この頃からこのスタイル「マイクロCPU+多重伝送+2CRT」が一般化した。